

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2023年（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。

## 2. 競技場の使用について

- (1) 選手・役員・引率責任者（保護者）、大会関係者以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (2) 選手・引率責任者は「Cゲート」から入退場を行うこと。メイン、サブともに7：30より入場可とする。
- (3) 競技役員は1Fエントランスより入場し、受付を行うこと。
- (4) 本部前の通行は一切禁止する。
- (5) 貴重品の管理は各自で責任を持って行き、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (6) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (7) 選手・引率責任者（保護者）はメインスタンドを利用すること。
- (8) 引率責任者及び同伴者の入場は参加選手の保護者及びその同伴者であること。
- (9) 貴重品等の盗難・置き引き防止に努めること。
- (10) **競技場内で選手の携帯電話・スマートフォン・パッド等の電子機器の利用・撮影は禁止とする。**
- (11) 競技会の運営ルール・マナーに違反している者や注意に対して厳守しない者は退場してもらう場合がある。

## 3. 競技者の招集について

〈招集の手順〉

- ・招集開始時刻から招集完了時刻までに競技服装になっておくこと。
  - ・その際にアスリートビブス（胸・背・腰）及びスパイクシューズの点検を受ける。
  - ・招集を受けなかった選手は失格となる。
  - ・アスリートビブスは招集までにつけておくこと。
- (1) アスリートビブス（腰）は**各校**で用意すること。**ただし、800m以上の種目は雨天練習場で受け取ること。**リレーにおいては4走のみアスリートビブス（腰）を着用する。
  - (2) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。なお、跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
  - (3) トラック競技出場者は、アスリートビブス（腰）をランニングパンツ右側上部やや後方につける。
  - (4) 招集場所は現地とする。※2種目に重なって出場している選手は、審判員に申し出ること。
  - (5) 点呼を受けない者は棄権とみなす。
  - (6) **WA規則第143条（TR5：シューズ）を適応するため必ず招集までに準備しておくこと。**
  - (7) 招集時間は次の通りとする。招集に遅れた者は棄権とみなす。

	招集開始時刻	招集終了時刻
トラック競技	競技開始20分前	競技開始10分前
フィールド競技	競技開始30分前	競技開始20分前

- (8) リレーについて（オーダー用紙）
  - ・**今大会に限り、ユニフォームが揃っていない場合でも出場を認める。**
  - ・「北区記録会」のみに出場している選手をリレーメンバーに加えることはできない。
  - ・オーダー用紙についてはHPの指導者のページよりダウンロードし、各校で準備すること。
  - ・競技開始2時間前までに本部記録係へ顧問が提出すること。
- (9) 多種目同時出場届について
  - ・2種目に引き続いて出場する場合などで、次の種目の点呼に出席できないような場合には、「多種目同時出場届」を提出すること。
  - ・届出用紙はHPよりダウンロードして各校で準備すること。
  - ・**競技役員受付時に顧問が提出すること。**

#### 4. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) (着順ではなく) 時間を元にして第166条3(b)によるランキングの順位が同じな場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。  
それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。〔競技規則第167条2〕  
※その場合は、アナウンス及び電光掲示により知らせるので、3分以内に本部に集合すること。
- (3) トラック競技のスタートにおいて、「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声その他の方法で、他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔競技規則第162条5(c)〕
- (4) スタートにおける不適切行為は、競技規則第162条5を適用せず注意にとどめる。
- (5) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (6) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (7) フィールド競技のマーカ― (主催者が準備したもの、または承認したもの) を、2個まで使うことができる。  
マーカ―が準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔競技規則第180条3(a)〕
- (8) サークルから行うフィールド競技では、マーカ―を1つだけ使用することができる。〔競技規則第180条3(b)〕
- (9) 抗議は原則認めない。ビデオ等での抗議は対象としないこととする。
- (10) トラックレースはタイムレース決勝とする。ただし、東灘区・北区の100mについては予選・決勝を行う。

#### 5. 競技による入退場について

- (1) 入場は競技の妨げにならないよう招集場所に行くこと。
- (2) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。

#### 6. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。  
また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。

#### 7. 記録について

- (1) すべての記録に関してはアスリートランキングHPにて確認をすること。<http://www.athleteranking.com/>
- (2) 電光掲示板による記録の速報を行う。

#### 8. 走高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技				
走高跳	男子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50 1m55 … 以上3cmずつ
	女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m33… 以上3cmずつ

※ ジャンプオフは行わない。当日、練習・競技開始の高さは変更する場合がある。

#### 9. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (2) 引率責任者は補助競技場の利用・観戦はできない。
- (3) 競技場周辺での練習 (駅伝試走も含む) は禁止する。
- (4) 練習ハードルについて  
7:40~8:30までメイン競技場に設置しているものを使用すること。各校のハードルの持ち込みは禁止する。
- (5) 投擲練習について  
今大会は投擲練習場を設置しない。補助競技場や競技場内周辺での投擲練習は禁止とする。

## 10. その他

- (1) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (2) 大会規定・申し合わせ事項等については、競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるよう協力すること。
- (3) 競技会当日、午前6：00の段階で神戸市に気象警報（波浪以外）が発令されている場合は中止とする。
- (4) 貴重品は各自で責任を持ち、忘れ物のないように注意すること。
- (5) ゴミは各自で責任をもって持ち帰ること。
- (6) 公園指定の駐車場は混雑が予想されます。公共交通機関のご利用にご協力ください。
- (7) 施設の備品を持ち帰ることがないようにすること。万が一、破損などあった場合については必ず顧問に申し出ること。
- (8) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (9) 選手が競技場内にて携帯電話等電子機器で撮影を行わないこと。
- (10) 競技場内の安全確保のため、マーシャル係が競技場内を巡視します。注意事項に反している場合、係より注意を行います。従わない場合は競技場より退場していただく場合があります。
- (11) 選手変更・種目変更は原則認めない。
- (12) メイン・補助競技場共に更衣室の利用はできない。

## 11. 写真（ビデオ）撮影について

悪質な写真（ビデオ）の盗撮を未然に防ぎ、生徒や選手をこれらからの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせてもらいます。

①大会運営本部より許可した報道関係者

②大会出場選手の引率責任者

※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合があります。